

リクルートグループ、“より良い未来につなげる兆し”を新たに情報発信 『コレカラ会議』 サイトオープン

株式会社リクルートホールディングスの中間持ち株会社である株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘、以下リクルート）は、より良い日本の未来につなげる情報発信を目的とした『コレカラ会議』のWebサイトを、本日オープンしましたので、お知らせいたします。

『コレカラ会議』 URL：<https://recruit.co.jp/company/involvement/korekara/>

1 「トレンド予測」は変わります。—『コレカラ会議』へ

リクルートグループでは10年前より、「トレンド予測発表会（※）」という場を設け、企業や個人ユーザーの動向から見える社会変化をとらえ、流行や消費トレンドに関する良い兆しを、毎年年末に発信してきました。「トレンド予測発表会」は、業界の活性化や社会課題の解決に役立つ未来予測として、キーワード「ソー活」「寮内留学」「デュアラー」「ポータグルメ」など、すでに80件を超える“良い兆し”を発信するに至りました。

しかし今は、“世界中がコロナの真っ只中”にいます。人も企業も国も、すべての人々が起こる現実と変わる未来、どう変われば良いかを考え、全方位で、しかも猛スピードで変革しはじめています。

『コレカラ会議』は、「トレンド予測発表会」における「社会における良い兆し」の発信から一段進化して、「より良い未来につなげる兆し」の発信へとシフトする、リクルートグループの新しい情報発信のカタチです。本日オープンするWebサイトを通じて、タイムリーに情報発信してまいります。

（※）過去のリクルートのトレンド予測：<https://www.recruit.co.jp/company/involvement/trend/>



2 公開コンテンツについて

第1回テーマ：学校と職場が変わる、「オンライン行動学」のコレカラ

学校と職場では、オンライン化の進展によって変化が起きていますが、コロナ禍でその動きが加速をしています。特に、教師や上司の方々に求められる役割は大きく変化しており、生徒や同僚との関係性構築・マネジメントにあたっては、新たな期待役割が求められています。コロナ禍における学校と職場でのオンライン行動について、各事業領域から見える兆しを、3名の話者が語りました。

【第1回の話者】

- リクルートマーケティングパートナーズスタディサプリ教育AI研究所 小宮山 利恵子
- リクルートスタッフィングスマートワーク推進室 平田 朗子
- リクルートマネジメントソリューションズ 組織行動研究所 古野 庸一

※第2回、第3回は下記のテーマを予定しております。ご取材希望の方は、広報までお問合せください。

【第2回】人生の岐路の決め方が変わる、「〇活・〇活動」のコレカラ

【第3回】Afterコロナの“働く”と“住む”の関係性

About Recruit Group

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、45,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2019年度の売上収益は23,994億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。詳しくは <https://recruit-holdings.co.jp/> をご覧ください。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>